

螺旋階段を

登るの仕方

財務局長 永石雄亮

行くぜ！全日青！



令和4年になり、早1カ月が過ぎた。年末年始のテレビはさまざまな歌が流れ、その中には思わず口ずさんでしまうような懐かしい曲もあった。懐かしい曲ではあるが、アレンジが加えられて、私の知らない歌手が歌っていた。現在の若いアーティストがカバーしているのだという。

哲学者ヘーゲル

は、「事物の螺旋的発展の法則」を提唱した。螺旋階段を想像していただきたら、螺旋階段を真上から見ると、同じところをぐるぐる回っているように見える。横から見ると、螺旋階段をどんどん登っていく様子が見て取れる。

螺旋階段を上から見るように、事物は流行して↓廃れ↓流行して、を何度も繰

同じような流行は実は発展している

り返す。そして、螺旋階段を横から見ると、同じようなものが再び流行しているように見えて、実は前回よりも上に発展している。

例えば、遠くの人へ想いを伝えるために昔は「手紙」を書いてきたが、「電話」が発明された。さらに文明が発展すると「メール」を打ち、現在では「テレビ電話」やWEB会議などが用いられる。【文章】手紙↓【声】電話↓【文章】メール

「新しいながら」を掲げている全日青第34代。財務局長を拜命しているから、たくさんの先輩たちから昔の青年会の熱い話を聞く。残り少ない任期ではあるが、今までの歴史を受け止めて、螺旋階段を登るように発展させていきたい。これが「新しいながら」と信じて。

が、最近では「鬼滅の刃」となっていることも螺旋的發展だろうか。

昭和58年2月24日生まれ／長崎県日青会所属／長崎県立大学

私事であるが、昨年12月に第3子が産

経済学部卒／長崎県
布教師会副会長